



名取武一議員

子どもの貧困について

貧困の連鎖は断ち切らなければ

質問・・・「子どもの貧困」が大きな社会問題となっている。町内の状況をどう把握しているか。

教育長・・・特にひとり親家庭が深刻と受け止めている。状況の把握について研究したい。

質問・・・子どものSOSをどうとらえようとしているか。

教育長・・・家庭調査書、家庭訪問、懇談会などで家庭の状況の把握に努めている。集金状況などでも把握している。

質問・・・「就学援助」の状況と課題は。

より増加傾向にあり、現在7%強。(県平均は10・8%)プライバシー保護もあり、家庭の経済的状況の把握が課題。

質問・・・就学援助の内容は。

子ども課長・・・他の自治体との比較では保護の基準が高く、カバール活動の部費以外の個人の運動用品等についてはカバールできていない。

質問・・・入学用品の支援について、入学前に支給することはできないか。

子ども課長・・・他市町村の状況を検討しながら考えていきたい。

質問・・・就学前の「子どもの貧困」対策は。

教育長・・・保育園では毎日送迎の折、家庭状況の把握に努めている。

質問・・・保育と教育との関係はどうとらえているか。

教育長・・・保育そのものが大切な教育であると考えている。同時に、

生活習慣や態度、人に対する愛情・信頼感などは家庭でも育てるべきで、両立して考えなくてはいけない。

質問・・・生活困窮者支援で他の部署との連携は。

子ども課長・・・社会福祉協議会、町社会福祉係、児童相談所なども参加している「支援会議」で、貧困家庭の抱えている問題を総合的に検討している。

質問・・・住民福祉課の「子どもの貧困」へのかわり。

住民福祉課長・・・課としても主体的にかかわっている。

■境メガソーラー建設計画について

質問・・・切掛沢川の河川管理者は誰か。

町長・・・富士見町役場の建設課です。

【その他の質問】

○「商店版リフォーム助成制度について」

○「有害鳥獣対策について」



川合弘人議員

西山地区の「トマトランド」構想の概要は

大平の農地12%に、健康野菜をつくり、観光客を呼びこむ

質問・・・トマトランド構想は誰が発案し、計画を進めてきたのか。総事業費と、町、地元の負担額はどれくらいか。

町長・・・企業名は丸秘。3年ほど前に、某大手メーカーから「地元貢献をしたい」と話があった。新規就農者を募り、雇用と観光客増を狙った事業で、町も「ぜひお願いしたい」というスタンスで3年ほど前から計画してきた。大半の費用は大手メーカーが負担する。

水田を畑にして水平な面にするための基盤構造改善を行う。この部分は町の負担が12・5%発生する。2016年度から3年間で総額3000万円。地元負担はない。地権者には賃貸料が入る。

質問・・・経済効果は。

町長・・・新規に20人程度の新規雇用が生まれる。観光面では3万人程度の観光客増を見込む。富士見パノラマスキー場と近いため、リンクした経済効果が見込めると考えている。

質問・・・県の農地中間管理機構が大平の農地の集約化を進め、実際に農地を貸し付けて事業を行う組織は、新会社の「八ヶ岳みらい菜園」。全国的にも農地集約のモデルケースになるのではないか。

町長・・・その意気込みで、大手企業、実際に事業を担う社長、役場の職員も、モデルケースにさせるという意気込みでやっている。意

気込みが感じられる。成功すると思う。

質問・・・対象農地の中に富士見小の学校田があるが、どうなるのか。

産業課長・・・換地業務の中で換地をしていきたい。

■デマンド交通の充実と改善は

質問・・・休日運行は実現できるか。

町長・・・病院が開いている土曜日の運行をやってみたい。利用率が多いようなら継続したい。

質問・・・メンテナンス・リースで全車両を新車に更新し、運行の効率化や事業費の削減を図る考えは。広原への増便は。

町長・・・車体はリース契約し、ドライバールは専門の人を雇う。広原へは、神戸・立沢線、乙事・境線の2路線のバスを予約の入った時に運行する。

【その他の質問】

○子育てと英語教育の充実